

関東蒲生会29年度 かわら版

発行：平成29年8月20日

トランプ大統領誕生を機に思う事

関東蒲生会会長 小倉 収

関東蒲生会会員の皆様、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

本年1月にドナルド・トランプ氏が第45代アメリカ合衆国の大統領に就任して、アメリカ第一主義を唱えて、アメリカの再構築を呼びかけています。

振り返ると、第二次世界大戦後は、東西の冷戦の中、自由主義諸国の世界経済は、アメリカ主導のブレトンウッズ体制(国際通貨及び国際金融に関する国際会議)の下にスタートをしました。

現在のEU(欧州連合)もアメリカのマーシャル援助を機に発展したものであり、NATO(北大西洋条約機構)もアメリカの主導の下に結成されたものです。

現在1ドルが、110円前後で推移している為替レートの原点は、1971年のニクソンショックに遡り、アメリカは、金とドルとの交換(金1オンスと35ドルの交換を約束しています)を停止して、固定為替相場制から変動為替相場制に移行せざるを得なかったのです。



アメリカは、第二次世界大戦以降、約70年間国際収支が黒字になったことはほとんど無く、特に貿易収支は大幅赤字の連続で、アメリカの赤字でもって我が国をはじめ世界の多くの国が潤って来たのでした。

アメリカは、自由主義世界のリーダーとして長きにわたって犠牲を払って来ており、アメリカ国内は逆に思ったより疲弊して、国民の不満が高かまっていたことがわかります。そのような国内環境の中でトランプ大統領が誕生したものと思えます。



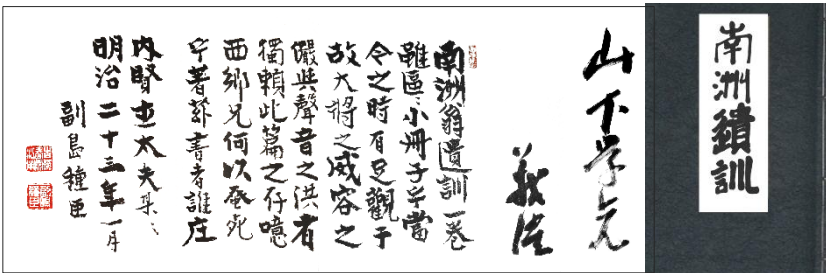
島津斉彬公愛用の地球儀

わが国日本は、アメリカの傘の下で宗教の争いもないし、人種や言語の違いもなく、世界の中で最も平和で、安定しており住みよい国であることを自覚すべきであり、アメリカに感謝すべきとも思えます。

また、我々の住んでいる地球のあらゆる資源は、世界中の共通の財産でもあり、自由貿易市場の拡大や発展によって、政治的対立や紛争、戦争を解消して核などによる地球の破壊は、何としても防がなければなりません。

3年後には、わが国日本で、世界の平和の祭典でもあるオリンピックが、開催(2回目)されます。

また、来年のNHKの大河ドラマは『西郷どん』に決まり、鹿児島が脚光を浴びる中で、我々の故郷である蒲生および始良市は、インフラ整備や社会環境が整備されて大変住み良い町になりつつあることを嬉しく思い、改めて笹山市長に感謝を申し上げる次第であります。



南洲遺訓 序文 副島外務卿(西郷侯爵家蔵明治二十三年初版の復刻) 山下家蔵



2018年のNHK大河ドラマ発表(NHK)



来年からは、東京加治木会、関東始良町会、関東蒲生会と一緒に、関東始良市ふるさと会として開催され、その総会には、島津義弘公によって約400年前に広められたと言われる郷土伝統芸能「太鼓踊り」をお招きする計画です。

皆様方により一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

1. 第55回関東蒲生会総会・懇親会(93名参加)
平成28年9月24日(土) 13:00～ 三州クラブ
2. 第20回渋谷・鹿児島おはら祭り
平成29年5月21日 おはら祭り 渋谷道玄坂 踊りパレード 13:00～16:00 合同懇親会(蒲生会20名参加) 16:30～
3. 第一回総会準備(平成29年6月24日)
総会開催のための企画、準備日程の確認、関東蒲生会運営寄付金の募集、かわら版の発行などの決定を行う。
4. 第二回総会準備会(平成29年9月2日) 総会案内の準備と総会・懇親会案内状の発送
同封資料:案内状、かわら版、寄付金振込用紙、返信用ハガキなど約450通の案内発送作業。
以降予定 第三回総会準備会 9月30日(土) 13:00～16:00 三州倶楽部
5. 関東蒲生会 29年度総会懇親会10月15日(日) 受付12:30～13:00 総会・懇親会13:00～16:30 三州倶楽部

＜関東蒲生会運営寄付金のお願い＞

ご承知のように関東蒲生会は年一回の総会・懇親会で会員相互の親睦と町との交流を主な役割としてまいりました。引き続き今後の運営も総会での決議に基づき続けてまいる所存でございます。

一方、今回の総会・懇親会のご案内も含めた、通信費、印刷費、会議室使用料など1年間の維持運営を総会参加者の会費の中から捻出し、不足分は有志の寄付と幹事一同のボランティアで賄っているのが実情でございます。

引き続き、関東蒲生会の会員の方々から広く運営寄付金の募金を募っております。関東蒲生会の有志の方々へ寄付を賜りますようお願い申し上げます。(振込用紙を同封してあります)



第20回記念 渋谷・鹿児島おはら祭2017

関東蒲生会副会長 関東始良市おどり連長 久富木 文子

今年のおはら祭は、20回目の節目を記念して、鹿児島市出身歌手達と踊り連で、「歌って踊りまショー」ビッグフェスティバルも開催され、本番の踊りパレード2017は5月21日(日)13:00開会式、関東連54、鹿児島連10の総勢64連、2500人の踊りパレードがスタート。あいらびゅー踊り連は、始良、加治木、蒲生の関東勢42名、始良市から25名、総勢67名で渋谷音頭、おはら節、ハンヤ節、東京オハラを16時まで笹山始良市長を先頭に、文化村通から道玄坂への上下りを踊り切りました。

今年には20回記念の為、南日本放送が故郷鹿児島への1時間生中継放映をし、始良市長や飛入り参加で踊ってくれた西田あいちゃん、踊り連などへのインタビューも盛り上がり、初参加のInternationalOHARA連が、日本文化、踊り、触合いを楽しんで、南日本放送賞を受賞！あいらびゅー踊り連は、受賞こそ逃しましたが、応援に来てくださった皆様や、生中継を鹿児島で見て下さった皆様と、ワイワイ元気に皆で踊れる喜びを分かち合いました。

大きな声援とご支援を頂いた関東蒲生会、始良市ふるさと会関連のみな様に心から感謝致します。

第66回天文館おはら祭りが11月3日(金)文化の日に鹿児島・天文館で開催されます。来年の第21回渋谷・鹿児島おはら祭りは平成30年5月20日(日)開催予定ですので、どうぞ、踊りに応援に来てたもんせ。



昭和38年7月、当時蒲生中学校の剣道部は八幡神社の鳥居の向かいにあった公民館で稽古が行なわれており、大山小学校から蒲生小学校に転校して来た私は中学生の稽古姿に憧れ、毎日のように外から見学していました。

だんだんと自分も剣道をやりたいという思いから親に話し「絶対に止めない」との約束をした上で、数人の友達も誘い稽古に加えてもらうこととなりました。

当時の蒲生中学校は県下でも強豪校として知られ、顧問の先生の他に八幡神社の宮司さんや農業を営んでいる方、商店主の方など常に6~7名の先生方が指導されておりました。

主催は教育委員会で毎年寒稽古や暑中稽古もあり、土日以外は毎日稽古を続けていました。私が6年生の時に蒲生中は県大会で優勝し、優勝旗を目にした私は中3になったら「必ず自分も優勝をする」との思いを目標に掲げ稽古を続けました。その頃、公民館を体育館として立て直すこととなり、小学生は八幡神社の境内で稽古を行うこととなりましたが土の上での稽古は足のバネも効かず、雨の日は軒下で素振りや木刀による型の稽古と、思うようにまともな稽古が出来ない時もありました。

41年7月に体育館が完成した後は先生方のご指導のお陰で中3の時に開催された第1回島津義弘公奉賛中学校剣道大会で伊集院中や吉松中の強敵を下し念願の優勝することが出来ました。この大会は今年で50回目を迎え、規模も大きくなり始良市総合運動公園体育館で毎年行われております。

蒲生の地には明治神宮大会で2度の優勝を遂げられた第7代蒲生町長の酒匂久先生をはじめ全国警察大会で活躍された先輩方や全国実業団大会や国体等で優勝された先輩方を多数輩出しており、また昭和43年には明治100年、町制40周年の記念事業として国分市、始良町を招待し盛大に記念大会が開催されました。正に「剣道の町・蒲生」でありました。

私も還暦を過ぎ、剣道開始から50数年経過した今でも剣道を続けており、その間約30年間大学などで指導を行ってきました。

その指導方法や剣道に対する考え方、ひいては生き方そのものまでが蒲生の公民館、八幡神社境内そして体育館でご御教誨いただいたことが原点であります。

現在、蒲生中剣道部は休部中のようなのですが蒲生剣道スポーツ少年団の活躍や大楠剣道大会も毎年開催されているので一日も早い剣道部復活を祈念して止みません。



私の趣味はこだわりのあくまき作り(懇親会でお召し上がり下さい)

幹事 黒江 伸一

蒲生を後にして半世紀が過ぎ、私は70歳を迎えようとしています。

私は小川内の生まれで、蒲生町のほぼ中心に位置します。周りを山々に囲まれた盆地で、別府川に流れる支流を境にして、西浦と米丸とに分かれます。

現在は過疎化が進み、人口よりも、猪、鹿、猿の方が多く住む小さな山村です。幼いころ私は、その川で、泳ぎや魚とり等々、色々な事を学びました。

6月になると、待ちに待った鮎とりが始まります。私が鮎とりを覚えたのは小学校中学年の頃で、その時期になると、あくまきを片手に親父に良く鮎を取りに連れて行かれました。親父に作ってもらった私専用のかけ針を使い、大人の真似をして川に入り、魚を追いかけたものです。



まだ泳ぎもうまく出来ない私は魚に遊ばれ、ただ川遊びをただけに過ぎず、経験を重ねるうちに、自分でも鮎が取れるようになりました。その時の感激はひとしおでした。それから鮎や鰻など川魚を取る様になって夏の季節が待ち遠しくなりました。田舎を離れてからも帰省する度に好きな川に出掛けています。

こちらにも(神奈川県)、かけ針を使える川が幾らかあるので、時々出掛けています。かけ針のひっかけ手法は、珍しいらしく、まわりの釣り人がびっくりしながら見えていますよ。このかけ針は、田舎から取り寄せ、自ら編んで作っています。蒲生では、編んだかけ針の販売店は今はもうないそうです。

私は20年位前から5月の端午の節句に、あくまきを作っています。

作り始めた動機は、あくまきが好きだったことでもあります。古里大好きな私は田舎と何か繋がりを持ちたい気持ちがあって、親父に教えてもらいました。子供のころから手伝っていたので、少しは知識があったものの、全工程を覚えるまで苦労しました。試行錯誤しながら作り続けているうちに、最近になって何とかあくまきらしくなり、人前に出せる様になったのです。

鹿児島県人は、想い出深い田舎の香りがするあくまきに対し、敏感に反応します。喜んで貰えると、嬉しくなって又来年も頑張る気持ちが沸いてきます。

今後もできる限り続けていきますので、どうか皆さん、懇親会で目前に出た時は、味見を宜しくお願いします。



黒江伸一さんのあくまき

雲一つない晴れわたった昨年11月28日とそれに続いて本年2月4日の2回にわたり世界でも有数の大都市東京の壮大な景観を上空から俯瞰眺めるヘリコプター遊覧飛行に参加し貴重な経験をしました。2回とも運よく良い天気に恵まれました。

参加者は関東蒲生会満田泰啓名誉会長（前会長）以下蒲生会メンバー併せて16名です。乗るヘリコプターはエクセル航空のアメリカ製でエンジンはフランス製で時速200キロメートル以上という最新鋭の8人乗りのヘリコプターでした。

このヘリコプターのパイロットは同航空会社のベテランパイロットの関東蒲生会会員の森木田利治さんで操縦席から「おやっとなさーです」と挨拶を受け機内に乗り込みました。また、森木田さんの操縦で操縦しながらガイドも同時に担当していただきました。

発着時間は日中帯、夕方薄暮時間帯、夜間帯の飛行があるようですが私達が乗った時間は夕方近くの午後4時30分離陸のヘリで東京湾に面した浦安ヘリーポートから離陸しました。

またたく間に高度1000メートル達し1000メートル上空から首都東京の360度大パノラマの壮大な景観を眼下に眺めながら時速250キロの速度で飛行。

ディズニーランド、舞浜リゾート、お台場、東京ゲートブリッジ、レインボーブリッジ、新宿ビル街、六本木ヒルズ、東京タワー、皇居、東京ドーム、スカイツリーなど俯瞰し望みながら飛び続けました。



当日は天候に恵まれ地上のビル、道路の車、河川、海には船等が良く見えました。

また、夕日に映える赤く染まった雄大な富士山と地上634メートルのスカイツリーと並んだ風景は素晴らしく感動しました。

これは上空から実際に眼前に見た者でないと分からない光景だと思います。

楽しくてまだまだ乗っていたい気持ちで降りたくない気分でしたがまたたく間に15分のフライトが終わり東京上空からの遊覧飛行を満喫し、ディズニーシーを眼下に見ながら着陸しました。

今回は夕方薄暮帯のフライトでしたが次回は機会があれば夜の東京の夜景を上空から遊覧してみたいと思います。

今回蒲生会の森木田義弘さん兄弟のこの素晴らしい企画によりこのような本当に素晴らし思い出を戴き感謝しているところであります。

蒲生会の皆様この素晴らしいヘリコプター遊覧飛行を一度経験楽しんでみたら如何でしょうか。きっと良い思い出になること間違いありません。

ようこそ蒲生会ドットコムへ



関東蒲生会のホームページをご覧ください!

全国の各地にお住まいの蒲生出身者、蒲生に縁の方々も自由に閲覧・投稿できます。

このホームページには総会・懇親会時の写真や関東始良市ふるさと会も色々と投稿されております。

ホームページ

<http://www.kamoukai.com>

メールアドレス

office@kamoukai.com